



Title	アジア太平洋論叢 第26巻1号 編集後記
Author(s)	
Citation	アジア太平洋論叢. 2024, 26(1), p. 111-111
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/95115
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

今回、編集に関わった者の一人として編集後記を書く機会をいただいた。

前号は第 25 号であったが、本号は第 26 巻 1 号として刊行される。電子ジャーナル化された第 22 号からも紙での発行を主とした巻号の表記となっていたが、本号では本誌を電子ジャーナルとして掲載するオンラインプラットフォームである「J-STAGE」の仕様に一本化した。本号において変更を加えることにしたのは、本号と同時に第 26 巻 2 号として特集号を公開するためでもあった。特集号では「Transnational Caregiving for Older Adults and Wellness in North America, Latin America, and Asia」と題して、2022 年 12 月 12 日（日本時間）にカリフォルニア大学バークレイ校と大阪大学が共催で実施したオンライン・シンポジウム「International Symposium on Transnational Professional Caregiving for Older Adults and Care Workers' Wellness in the U. S., Mexico, Taiwan, and Japan」での発表に基づいた論考を掲載させていただいた。

筆者にとっては、J-STAGE を扱うのは初めてであったが、今後、電子ジャーナルとしての利便性を上げることができるよう、工夫していきたいと考えている。このように『アジア太平洋論叢』は電子ジャーナル化された一方、アジア太平洋研究会や大阪大学地域研究フォーラムにおける議論は対面で続いており、大阪外国語大学及び大阪大学における地域研究の蓄積を肌で感じ、そこに参加できる場となっている。今後も多様な議論を発信する場として本誌を発展させていきたいと考えている。（林貴哉）